数理計画法 第2回

2.1 線形計画問題と

その標準形

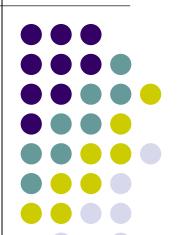
2. 2 双対問題

担当: 塩浦昭義

(情報科学研究科 准教授)

shioura@dais.is.tohoku.ac.jp

http://www.dais.is.tohoku.ac.jp/~shioura/teaching/mp09/



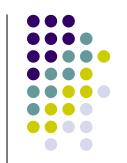
今日の講義の流れ

線形計画問題に関する用語と定理

- 不等式標準系, 等式標準系
- 双対問題
- LPの諸定理

2. 線形計画

2. 1 線形計画問題とその標準形



線形計画問題(Linear Programming Problem)の定義

- 目的関数(objective function)が線形
- 制約(constraint)が線形という最適化問題

目的は「最大化」「最小化」 どちらでもよい

最大化 2x + 2y + 3z条件 $5x + 3z \le 8$ 2z = 2 $4y + z \ge 9$ $x, y \ge 0$

制約式は「≧」「=」「≦」 どれでもよい (「>」「<」は不可)

変数は 「不等号つき」「不等号なし」 どちらでもよい

LPの不等式標準形

任意の形のLPを 扱うのは面倒

- ⇒ 不等式標準形
- (inequality standard form)

- (◆目的は最小化 (minimization)
 - ◆制約式は不等式(inequality)

「左辺≧右辺」の形

【◆各変数は非負(nonnegative)

最小化
$$c_1x_1+c_2x_2+\cdots+c_nx_n$$

条件 $a_{11}x_1+a_{12}x_2+\cdots+a_{1n}x_n \ge b_1$
 $a_{21}x_1+a_{22}x_2+\cdots+a_{2n}x_n \ge b_2$
 $a_{m1}x_1+a_{m2}x_2+\cdots+a_{mn}x_n \ge b_m$
 $x_1 \ge 0, x_2 \ge 0, ..., x_n \ge 0$

不等式標準形への変形



命題2.1:任意のLPは不等式標準形に変換できる

次の4つの変換法を利用

【式の同値変形】 等式を二つの不等式で表現

$$\sum_{j=1}^{n} a_j x_j = b \quad \Longrightarrow \quad \sum_{j=1}^{n} a_j x_j \leq b, \quad \sum_{j=1}^{n} a_j x_j \geq b$$

【目的関数の-1倍】最大化から最小化へ

最大化
$$\sum_{j=1}^n c_j x_j$$
 最小化 $-\sum_{j=1}^n c_j x_j$ 最小化 $-\sum_{j=1}^n c_j x_j$ 【制約の -1 倍】 不等式を " \leq " から " \geq " へ

$$\sum_{j=1}^{n} a_j x_j \leq b \qquad \qquad -\sum_{j=1}^{n} a_j x_j \geq -b$$

不等式標準形への変形

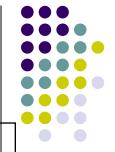


【差による表現】

非負制約のない変数を2つの非負変数で表現

$$x_{j}$$
 (非負制約なし) $x_{j} = x_{j1} - x_{j2}, x_{j1} \ge 0, x_{j2} \ge 0$

不等式標準形への変形の例



条件
$$x + y = 1$$

$$x \ge 0$$



最大化
$$3x + 2(y_1 - y_2)$$

条件
$$x + (y_1 - y_2) = 1$$

$$x \ge 0, y_1 \ge 0, y_2 \ge 0$$

条件
$$x + (y_1 - y_2) = 1$$

$$x \ge 0, y_1 \ge 0, y_2 \ge 0$$

最小化
$$-3x - 2(y_1 - y_2)$$

条件
$$x + (y_1 - y_2) \leq 1$$

$$x + (y_1 - y_2) \ge 1$$

$$x \ge 0, y_1 \ge 0, y_2 \ge 0$$

最小化 -
$$3x - 2(y_1 - y_2)$$

条件
$$-x - (y_1 - y_2) \ge -1$$

$$x + (y_1 - y_2) \ge 1$$

$$x \ge 0, y_1 \ge 0, y_2 \ge 0$$

「差による表現」による変形の妥当性



【差による表現】

変換前の問題:P₁

変換後の問題:P2

P1とP2は本質的に等価

● (s₁, ..., s_i, ..., s_n): P₁の許容解

(
$$s_1$$
, ..., s_{j1} , s_{j2} , ..., s_n): P_2 の許容解, 目的関数値同じただし $s_{j1} = s_j$, $s_{j2} = 0$ ($s_j \ge 0$ のとき) $s_{j1} = 0$, $s_{j2} = -s_j$ ($s_j < 0$ のとき)

例: (x, y) = (3, -2) は x + y = 1, x ≧ O を満たす

$$\Rightarrow$$
 (x, y₁, y₂) = (3, 0, 2) は x + (y₁ - y₂) = 1, x, y₁, y₂ \ge 0 を満たす

「差による表現」による変形の妥当性



【差による表現】

変換前の問題:P₁

変換後の問題:P2

P1とP2は本質的に等価

● (t₁, ..., t_{i1}, t_{i2}, ..., t_n): P₂の許容解

例: $(x, y_1, y_2) = (2, 1, 2)$ は $x + (y_1 - y_2) = 1$, $x, y_1, y_2 \ge 0$ を満たす $\Rightarrow (x, y) = (2, 1 - 2) = (2, -1)$ は x + y = 1, $x \ge 0$ を満たす

等式標準形

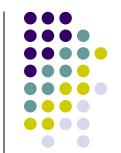
LPの等式標準形 (equality standard form)

- ◆目的は最小化
- ◆制約は等式(equation)
- ◆各変数は非負

最小化
$$c_1x_1+c_2x_2+\cdots+c_nx_n$$

条件 $a_{11}x_1+a_{12}x_2+\cdots+a_{1n}x_n=b_1$
 $a_{21}x_1+a_{22}x_2+\cdots+a_{2n}x_n=b_2$
...
$$a_{m1}x_1+a_{m2}x_2+\cdots+a_{mn}x_n=b_m$$
 $x_1 \ge 0, x_2 \ge 0, ..., x_n \ge 0$

等式標準形への変形



命題2. 2:任意のLPは等式標準形に変換できる

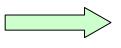
- 任意のLPは不等式標準形に変換できる(命題2.1)
- 不等式「左辺≧右辺」を等式へ

$$\sum_{j=1}^{n} a_{ij} x_{j} \ge b_{i} \quad \Longrightarrow \quad \sum_{j=1}^{n} a_{ij} x_{j} - x_{n+i} = b_{i}, \quad x_{n+i} \ge 0$$

新しい非負変数 x_{n+i} を利用 (スラック変数, slack variable)

$$4x_1 - 3x_2 + x_3 \ge -1$$

 $x_1 \ge 0, x_2 \ge 0, x_3 \ge 0$



$$4x_1 - 3x_2 + x_3 - x_4 = -1$$

$$x_1 \ge 0, x_2 \ge 0, x_3 \ge 0, x_4 \ge 0$$

双対問題

LPの最適値を下から見積もりたい (最適値の下界値の計算)

最小化
$$-2x_1 - x_2 - x_3$$

条件 $-2x_1 - 2x_2 + x_3 \ge -4$ ①
 $-2x_1 - 4x_3 \ge -4$ ②
 $4x_1 - 3x_2 + x_3 \ge -1$ ③
 $x_1 \ge 0, x_2 \ge 0, x_3 \ge 0$

制約を足し合わせてみる

- •目的関数≥②×3+③= $2x_1$ $3x_2$ $11x_3$ ≥ 13
- •目的関数 \geq ①×0.5+②×0.5= 2 x_1 x_2 1.5 x_3 \geq 4



双対問題

$$1 \times y_1 + 2 \times y_2 + 3 \times y_3$$

左辺:
$$(-2y_1 - 2y_2 + 4y_3)x_1 + (-2y_1 - 3y_3)x_2 + (y_1 - 4y_2 + y_3)x_3$$

$$-2y_{1} - 2y_{2} + 4y_{3} \le -2
-2y_{1} - 3y_{3} \le -1
y_{1} - 4y_{2} + y_{3} \le -1$$

最小化
$$-2x_1 - x_2 - x_3$$

条件 $-2x_1 - 2x_2 + x_3 \ge -4$ ①
$$-2x_1 - 4x_3 \ge -4$$
 ②

$$x_1 \ge 0, x_2 \ge 0, x_3 \ge 0$$

 $4x_1 - 3x_2 + x_3 \ge -1$ (3)

双対問題



最も大きな下界値を求めたい⇒新たなLP

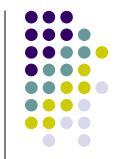
最大化
$$-4y_1 - 4y_2 - y_3$$

条件 $-2y_1 - 2y_2 + 4y_3 \le -2$
 $-2y_1 - 3y_3 \le -1$
 $y_1 - 4y_2 + y_3 \le -1$
 $y_1 \ge 0, y_2 \ge 0, y_3 \ge 0$

もとの問題に対する 双対問題 (dual problem)

もとの問題・・・・主問題 (primal problem)

主問題と双対問題



主問題

$$a_{21}x_1 + \cdots + a_{2n}x_n \ge b_2$$

$$a_{m1}x_1+\cdots+a_{mn}x_n \ge b_m$$

$$x_1 \ge 0, ..., x_n \ge 0$$

双対問題

最大化
$$b_1y_1+b_2y_2+\cdots+b_my_m$$

条件
$$a_{11}y_1 + a_{21}y_2 + \cdots + a_{m1}y_m \le c_1$$

$$a_{12}y_1 + a_{22}y_2 + \cdots + a_{m2}y_m \le c_2$$

$$a_{1n}y_1 + a_{2n}y_2 + \cdots + a_{mn}y_m \le c_n$$

$$y_1 \ge 0, y_2 \ge 0, ..., y_m \ge 0$$

最小化
$$c^{\mathsf{T}}x$$

条件
$$Ax \ge b$$

$$x \ge 0$$

行列表現

条件
$$A^{T}y \leq c$$

$$y \ge 0$$

主問題と双対問題



性質:双対問題の双対問題は主問題に一致する

証明→レポート問題

- 手順(1)双対問題を不等式標準形に書き換え
 - (2)書き換えた問題の双対問題をつくる
 - (3)得られた双対問題を変換するともとの問題に一致することを確かめる.

等式標準形の双対問題



• LPの等式標準形

最小化
$$\sum_{j=1}^{n} c_{j} x_{j}$$
 条件 $\sum_{j=1}^{n} a_{ij} x_{j} = b_{i}$ $(i = 1, 2, ..., m)$ $x_{j} \ge 0$ $(j = 1, 2, ..., n)$

不等式標準形に

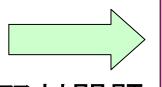


最小化
$$\sum_{j=1}^{n} c_{j} x_{j}$$

条件 $\sum_{j=1}^{n} a_{ij} x_{j} \ge b_{i}$, $-\sum_{j=1}^{n} a_{ij} x_{j} \ge -b_{i}$ $(i = 1, 2, ..., m)$
 $x_{j} \ge 0$ $(j = 1, 2, ..., n)$

等式標準形の双対問題





双対問題 をつくる

最大化
$$\sum_{i=1}^{m} b_{i} y_{i}' + \sum_{i=1}^{m} (-b_{i}) y_{i}''$$
 条件 $\sum_{i=1}^{m} a_{ij} y_{i}' + \sum_{i=1}^{m} (-a_{ij}) y_{i}'' \le c_{j}$ $(j = 1, 2, ..., n)$ $y_{i}' \ge 0$, $y_{i}'' \ge 0$ $(i = 1, 2, ..., m)$

最大化
$$\sum_{j=1}^{m} b_{i} y_{i}$$
 条件 $\sum_{j=1}^{m} a_{jj} y_{i} \leq c_{j}$ $(j = 1, 2, ..., n)$

y_i' - y_i"を 非負制約なし変数 y_iに置き換え

等式標準形のLPに対する双対問題

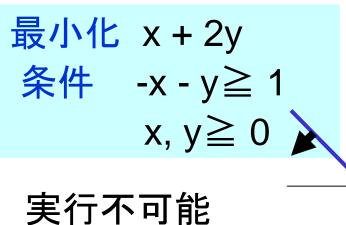
諸定理 - LPの基本定理

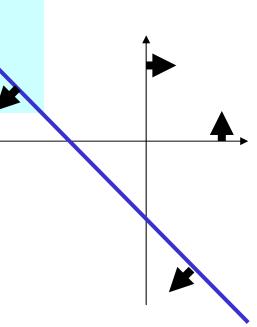


定義:LPに対し

- 実行可能(feasible)⇔許容解(feasible solution)が存在する
- 実行不可能(infeasible)⇔許容解が存在しない

実行可能 (1,1)は許容解





レポート問題(締切:10/21(木))



問1:次の問題を線形計画問題として定式化しなさい.

あるジュース製造会社では、A、B、Cの3つの町に工場兼配送センターをもっていて、W、X、Y、Zの4つの店舗にジュースを配送する必要がある。各工場が供給可能なジュース量、および各店舗が必要なジュース量は以下の通りである。また、各工場から店舗に1単位のジュースを運ぶ際に必要な費用は以下の通りである(単位は万円).

このとき、需要と供給に関する条件を満たし、かつ輸送費用を最小

にする輸送計画を求めよ.

2 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
	译	店X	店〉	店Z	供給量
A市	55	30	40	50	50
B市	35	30	80	45	30
C市	70	20	90	35	30
需要量	25	30	40	15	

レポート問題(締切:10/21(木))



問2:

(1) 下記の線形計画問題の許容解領域を図示し,

最適解を求めなさい. 最小化
$$3x_1 + 6x_2$$
 条件 $x_1 + x_2 \ge 2$ $x_1 + 4x_2 \ge 1$ $x_1 > 0, x_2 > 0$

- (2) 上記の線形計画問題の双対問題を求めなさい.
- (3) 双対問題の許容解領域を図示し、最適解を求めなさい、

問3:双対問題の双対問題は主問題に一致する事を証明せよ.